

科目名称	公衆衛生学
授業コード	AA208
英語名称	Public Health
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	利根川 惇
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	公衆衛生の目的は、人々の健康の維持増進にある。 一方、健康は、周囲環境の種々の要因によって大きく影響を受ける。 公衆衛生学は広範な分野を対象とするが、体系的な理解が得られるように授業を進め、実践的な問題解決能力を持ち、社会に還元できる生命科学人材の育成を目指す。
科目に関連する実務経験と授業への活用	保健医療行政にかかる実務経験を交え、実践的な知識習得を目指した講義を行う。
到達目標	・人々の健康の維持・増進へ向けた公衆衛生学なアプローチを網羅的に理解する。 ・生命科学の基礎となる公衆衛生学の修得を目指す。
計画・内容	第1回 公衆衛生学概論 第2回 保健統計 第3回 我が国の保健・医療・福祉と地域保健 第4回 疫学 第5回 健康増進 第6回 主要な疾病と対策 第7回 精神疾患対策と心の健康 第8回 高齢者保険と介護 第9回 感染症対策 第10回 食品衛生・環境衛生の概論 第11回 消毒の概要 第12回 食品衛生（演習を含む） 第13回 産業保健と学校保健 第14回 国際保健、公衆衛生の取組 第15回 理解度の確認と総括

授業の進め方	・スライドを使用した授業形式で進める。 ・理解を深めるため、一部演習を取り入れる。
能動的な学びの実施	演習を通じ、実践的な問題解決能力を養う。
授業時間外の学修	授業内容の復習、レポート作成を含め、合計60時間程度の予習と復習を必要とする。
教科書・参考書	(教科書) ・指定しない (参考書) ・柳川洋他、「社会・環境と健康 公衆衛生学」(2024年版)、医歯薬出版株式会社、2024年
成績評価方法と基準	期末試験(60%)、演習(25%)、レポート(15%)で総合評価を行う
課題等に対するフィードバック	・一定数講義ごとにアンケートを実施し、次回授業時にフィードバックを行う。 ・演習における結果について、コメントを付してフィードバックを行う。
オフィスアワー	・授業後、15分 ・E-mailでの質問対応(随時) ・Zoomでの質問対応(事前にE-mail等で調整の上、対応) ・窓口教員：岩瀬礼子 先生
留意事項	・本科目は食品・食品衛生系の専門科目であり、食品衛生管理者・監視員課程の必修科目である。この資格課程を履修している学生は必ず履修すること。 ・夏季集中講義で行う。履修登録は前期4月の履修登録期間に行うこと。講義日程は、掲示を確認すること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 Zoomによるオンライン授業 成績評価方法と基準 授業中の課題(30%)と期末レポート(70%)で評価する 本項は、非対面授業となった場合の対応に限る